

令和6年度第1回中野市学校給食センター運営委員会会議録 要旨

開催日時 令和6年10月10日（木） 午後3時30分

開催場所 中野市北部学校給食センター 2階会議室

出席者

（委員）

竹節幸子委員、村島康秋委員、神田久仁玲委員、小林みどり委員、小林裕美委員、野口央梨恵委員、塩崎陽子委員、小山正博委員、嶋田茜委員

（事務局 市教育委員会）

柴本豊教育長、柴本清天教育次長、大沢英樹所長、田中幸子副主幹、望月智栄養士、田澤悦子栄養教諭、宮澤比呂子栄養教諭、高橋佳子栄養職員、中島美紀栄養士

欠席者

（委員）

小池留美子委員、田中五月委員、古田忍委員

会議内容

- 1 開 会 柴本教育次長
資格審査報告 委員12名中、出席者9名
(運営委員会条例第5条第2項の規定により、出席委員が過半数を上回っているため、運営委員会が成立)
- 2 あいさつ 柴本教育長
- 3 自己紹介 (委員、事務局)
- 4 会長の互選、職務代理者の指名について
会 長：中野平中学校長の小山委員を選出
職務代理者：高社小学校長の塩崎委員を会長が指名
- 5 報告事項
(1)学校給食センターの概要と令和5年度運営状況について
所長が資料に基づいて説明を行った。

○質疑・ご意見

会 長：学校ごとに夏休みの期間が違っていると、少ない学校数で給食を作ったりする日があると思う。せめて校区ごとにでも休みの期間を揃えたほうがいいか。

事務局：今年もそうであった。学校の事情もあり、休みの期間もまちまちかと思う。少ない学校で給食を作るときは手作りなどの挑戦ができる。

会 長：スタイル（容姿）を気にして、牛乳を飲まなかったりする生徒がいる。給食センターを見学して残食が減った学校の話聞いたことがあるが、給食センターを見学させてもらうことは可能か。

事務局：今も、小学校の見学を受け入れている。来ていただいて大丈夫。中野平中学校で、残食の様子を知りたいということで、午後短時間だが来ていただいた。ぜひ、続けていっていただければと思う。

委 員：アレルギー対応の給食を出していただいていて、いつも安心安全な給食を提供していただき、ありがとうございます。米粉パンを出していただいたときに、アレルギーのある子も食べることができて娘が「クラス全員同じものを食べられたんだよ」と嬉しそうに言っていた。不登校の子がいるが、給食の時だけ食べにくる子がいる。そういう部分で給食は心の安定というか、社会とのふれあいというものにも役立っているなと思っていて、大変なお仕事だと思うが応援していきたい。いつも、ありがとうございます。

委 員：今、ビン牛乳が提供されているが、テレビでビンを維持することが大変だというのを見た。中野市の牛乳はビンのまま提供できそうか。

事務局：学校給食専用で確認して牛乳を出していただいているので、このままビンで大丈夫だと思います。

委 員：長野県は牛乳ビンが全国で一番高いと聞いたので、どうなのかと思って聞いた。

事務局：牛乳メーカーでもビンで出せるよう頑張っている。ビンと紙パックだと紙の味が牛乳についてしまうので、ビンのほうがおいしいと牛乳メーカーの方に教えていただいた。そのようなこともあり、メーカーもビンで出そうと頑張っている。

会 長：長野県はビン牛乳が多いと聞いた、紙パックだとパックがゴミとして出る。個人的にはビンのほうがリサイクルという意味でもいいのではないかと考えている。ただちょっと、コストがビンの方がかかるとも聞いているので、その辺の兼ね合いが難しいのかなとも思う。

委員：今、youtube を見たが若者に合った感じで作られているように思い、印象深いと思った。中学生ってあまり食の指導を外部の方に来ていただくことは、小学校と比べて難しいという課題がある。短時間であれば指導の時間もとれるので、先ほどの動画の DVD をお借りすることは可能か。

事務局：お貸しできます。youtube で配信しているので、見ていただくこともできる。

委員：また指導の時間に使用させていただこうと思う。

会長：小学校も中学校もお昼の放送で流せばいいなと私も思う。

委員：調理員の人数が少ないと聞いたが、体調が悪い時などの代替えの方はいるのか。無理して出勤して感染を広げてしまうこともあるので、体調が悪い時は気兼ねなく休めるのか。

事務局：北部も南部も代替えが数名いて対応している。ただ、人数は少ないので気軽に休むというよりは、体調が悪い時に休み代替を入れている。調理は委託しているので、委託会社へ話をしながら、広告や SNS を活用し PR してもらっている。ここで南部も北部も数名ずつ確保できたと聞いている。今後も募集を続けながら人材の確保に努めたい。

(2)令和5年度食育について

栄養教諭が資料に基づいて説明を行った。

○質疑・ご意見

会長：行事食が非常に楽しみである。お楽しみ献立など各学校の子どもたちの食べたい給食献立を出していただいて、ありがたいと思っている。どの学校のお楽しみ献立も美味しいものばかりで、その日に校長会が当たると食べられず残念。行事献立やお楽しみ献立が会議で食べられないことがないといいなと思っている。

委員：最近は、食べられないなら「無理して給食を食べなくてもいいんじゃないか。」と担任に言われることが結構ある。自校給食は、毎日給食を作っているところが見れたり、調理員さんにインタビューなどもして、給食を身近に感じた。そういう部分も期待して (youtube の) 第2弾を期待したいと思う。

会長：学校に（給食センターの職員・調理員）来ていただいて、子どもたちが食べている様子なんかを見てもらうのもいいのかなと思った。

事務局：学校訪問に行かせていただいている。今年度は中野平中学校に行かせていただく予定にしている。コロナ禍の時は行けなかったが、また様子を見ながら行きたいと思う。

委員：保健室に勤務しているので、食べている子どもたちの様子をあまり見れていないが、中野市の子どもなのに結構きのこが嫌いという子が多くいるように感じる。ちょっと具合が悪くて保健室で給食を食べる子が、きのこだけ残して食缶に戻している。カレー（人気メニュー）の時も「きのこカレーかぁ」と残念そうに言っている。日本で一番きのこを栽培して頑張っているのにもったいないなぁと感じる。「きのこを使っているのに気が付かないようなメニューがあったらいいな」と思うことと、きのこの栄養について、伝えていただいているので、引き続きお願いしたい。子どもたちがちょっとでもきのこを好きになってくれればいいなと思う。自分が勤務する学校だけなのか、他の学校もきのこ嫌いが多いのか。

事務局：全体的に多いです。中野市の給食は、えのきだけの生産量が1位ということもあり、意外なところに結構きのこを使用している、他の市町村より多く使われているので知らないうちに食べているということはあると思う。

会長：なかなか子どもたちの好き嫌いがハッキリしていると思うので、嫌いなものは絶対食べないという傾向にあるので、そこを指導していくのは、なかなか難しいと思う。

(3)その他

所長が、今後の給食センターの課題等について、資料に基づき説明を行った。

○質疑・ご意見

なし

閉 会 午後4時35分